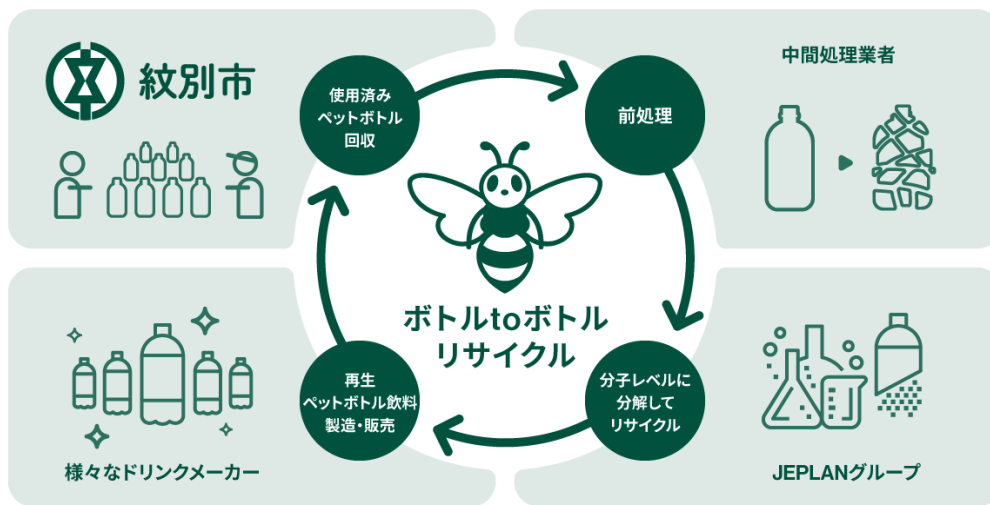


株式会社 JEPLAN
2025年2月17日

JEPLAN、北海道紋別市と地域循環共生圏推進に関する連携協定を締結

—ペットボトルのボトル to ボトル リサイクルに向けた連携を強化—

株式会社 JEPLAN（代表取締役 執行役員社長：高尾 正樹、以下「JEPLAN」）と北海道紋別市（市長：宮川 良一）は、「地域循環共生圏推進に関する連携協定」（以下「本協定」）を2月14日（金）に締結しました。



紋別市とペトリファインテクノロジーによるペットボトルの水平リサイクル（ボトル to ボトル）プロセス

本協定により、紋別市が回収した使用済ペットボトルを、JEPLAN のグループ会社であるペトリファインテクノロジー株式会社（代表取締役 執行役員社長：伊賀大悟）が、独自の PET ケミカルリサイクル技術を用いて、新たなペットボトルなどの原料に再生します。独自技術を活用することにより、使用済みペットボトルを分子レベルまで分解し、色素や金属などの不純物を取り除くことで、石油由来と同等品質の再生 PET 樹脂にリサイクルすることが可能です。これにより、限りある資源の循環を実現し、ペットボトルの原料となる新たな石油資源の使用削減、さらには CO₂排出量の削減に貢献します。

JEPLAN グループは「あらゆるものを循環させる」をミッションに掲げ、サーキュラーエコノミーの実現を目指し、資源循環を推進しています。ペットボトルの資源循環に関しては、日本全国の自治体と連携し、独自技術を活用したボトル to ボトル リサイクルに係る取り組みを実施しており、約 50 の自治体（2025年1月末時点）と協定を締結しています。

紋別市は、地球温暖化の原因とされている CO₂などの温室効果ガスの排出量を 2050 年までに実質ゼロにすることを目指すゼロカーボンシティを表明し、脱炭素社会の実現に取り組んでいます。本協定により、

本件に関する取材のお問い合わせ先

株式会社 JEPLAN 広報担当

電話：044-223-7898 E-mail：jeplan_info@jeplan.co.jp

JEPLAN グループと紋別市が有する人的・物的資源を有効活用し、資源循環に向けた推進や消費行動変容の機運醸成など、地域環境保全と地域経済・社会活性化の両立に取り組み、使用済みペットボトルのボトル to ボトル リサイクル推進や市民への環境教育や啓発活動等の連携を進めていきます。

今後も JEPLAN グループでは「あらゆるものを循環させる」というミッションの実現に向けて、引き続き国内外のパートナーとの連携を進め、グループ一丸となりサーキュラーエコノミーを牽引していくことに努めてまいります。

■「地域循環共生圏推進に関する連携協定」締結式



写真左から) 紋別市 市長：宮川 良一氏、株式会社 JEPLAN 取締役 執行役員会長：岩元 美智彦

■JEPLAN グループが推進する「ボトル to ボトル」のリサイクルに係る取り組み
[\(https://bringbottle.jeplan.co.jp/\)](https://bringbottle.jeplan.co.jp/)

JEPLAN グループは、日本全国の自治体と連携し、ボトル to ボトルリサイクルの取り組みを推進しています。役割を終えたモノがゴミではなく、価値ある資源として循環する社会を目指しています。この取り組みの一環として、ペットボトルを回収し、再びペットボトルにリサイクルする活動「おかえりペットボトルアクション」を実施しています。

日本では、年間約 64 万トン^{*1}のペットボトルが製造・販売されています。そのリサイクル率は約 85%^{*2}です。しかし、ペットボトルがペットボトルとしてリサイクルされている割合は約 34%^{*3}にとどまっています。この残りの 66%をボトル to ボトルリサイクルすることを目指し、さらなる資源循環の推進に取り組んでいます。



*1,2,3 : PET ボトルリサイクル年次報告書 2024 (PET ボトルリサイクル推進協議会)
<https://www.petbottle-rec.gr.jp/nenji/2024/2024.pdf>

■ **北海道紋別市** (<https://mombetsu.jp/>)

市長：宮川 良一

■ **株式会社 JEPLAN** (<https://www.jeplan.co.jp>)

代表者：代表取締役 執行役員社長 高尾 正樹

設立：2007年1月

主な事業内容：PET ケミカルリサイクル技術関連事業（対象：PET ボトル・ポリエステル）など

JEPLAN グループは「あらゆるものを循環させる」をミッションに掲げ、サーキュラーエコノミーの実現を目指しています。廃PET（ペットボトル、ポリエステル繊維等）を対象に、独自のPETケミカルリサイクル技術を用いて分子レベルに分解し、不純物を除去することで、石油由来と同等品質の再生素材に生まれ変わらせています。この独自技術を用いて、「ボトル to ボトル（ペットボトル）」や「服から服をつくる（ポリエステル繊維）」などのリサイクルに取り組むことで、限りある資源の循環を実現し、CO₂の排出量削減にも寄与しています。

なお、JEPLAN グループはペトリファインテクノロジー株式会社（神奈川県川崎市・ペットボトル対象）と北九州響灘工場（福岡県北九州市・ポリエステル繊維対象）の2拠点でPETケミカルリサイクルプラントを運営しており、国内外への技術ライセンス事業も推進しています。